

No.	19-1-11	場所	飯田市天龍峡「竜峡亭」付近	次世代への継承キーワード	災害現象理解
名称	①「竜峡亭」付近の川幅いっぱいに流れる濁流 ②龍江側の橋に押し寄せる濁流			河川	天竜川本川
災害現象	洪水氾濫			支流	
補足事項					

諏訪市 岡谷市 辰野町 箕輪町 南箕輪村 伊那市 高遠町 長谷村 宮田村 駒ヶ根市 飯島町 中川村 大鹿村 松川町 高森町 豊丘村 喬木村 上村 飯田市 南信濃村 清内路村 阿智村 浪合村 平谷村 下條村 阿南町 売木村 天龍村

概要	<p>下流の狭さく部である鷲流峡の影響で水位が上昇し、浸水被害が発生。弁天橋下流 300m 地点では右岸堤防が 500m にわたって決壊、家屋流出 2 戸、床上浸水 22 戸の浸水被害となる。地域内の 75.4 ヘクタールが大量の土砂流出により平均 1.5m の埋没被害となり、堆積土砂によって農地、農業施設は壊滅的な状況となる。</p> <p>●体験談：近藤彬広</p> <p>40 年も前の光景だが、今でもはっきりと脳裏に焼き付いている。天竜峡での天竜川は倒壊した家の柱や流木、牛や牛舎までもが流され、濁流の音は岩をも砕くほどだった。また、「異変が起きたような、地鳴りのような音がした。」 (「天竜川のあの頃」 p.184・198)</p>
----	--

記録



溪谷を一杯に流れる天竜川



龍江側の橋に押し寄せる濁流

※後 4、5 時間も雨が降っていれば、欄干が水をかぶったのではと話す人もいた。異変が起きた様な、地鳴りの様な音がした。

出典	「天竜川のあの頃」 P.184、431 / 「天竜川のあの頃」 P.198、447
備考	

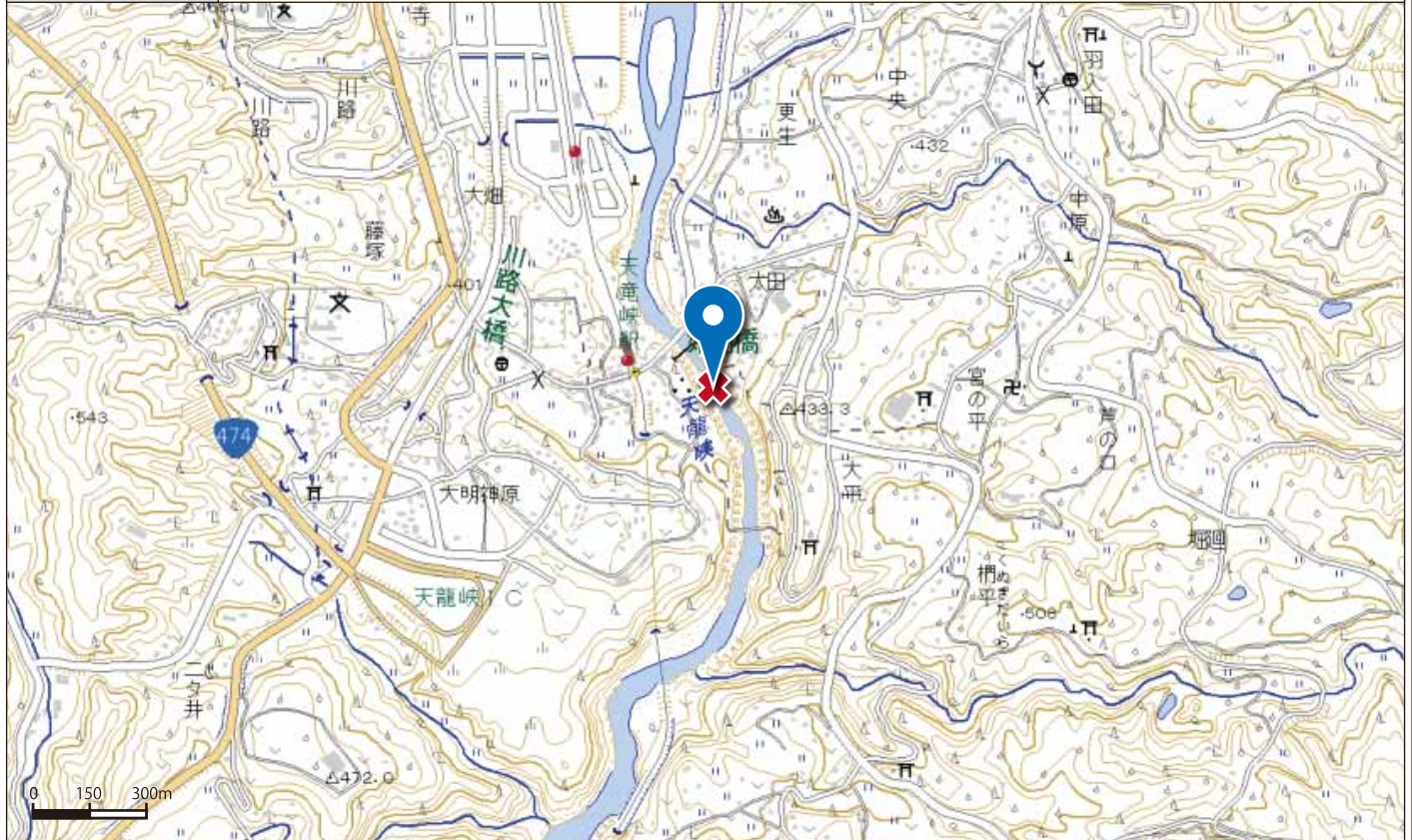
No.	19-1-11	場所	飯田市天龍峡「竜峡亭」付近	緯度	35.440232
-----	---------	----	---------------	----	-----------

名称	①「竜峡亭」付近の川幅いっぱいに流れる濁流 ②龍江側の橋に押し寄せた濁流	経度	137.819527
----	---	----	------------

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。